



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 三菱倉庫株式会社  
 コード番号 9301 URL <https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤倉 正夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 稲毛 尚之  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3278-6611

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	154,823	△9.3	7,814	△21.2	11,437	△18.9	32,829	220.5
2020年3月期第3四半期	170,655	1.0	9,918	△2.8	14,104	1.0	10,242	16.9

(注) 包括利益 : 2021年3月期第3四半期 42,750百万円( 314.4%) 2020年3月期第3四半期 10,315百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	384.99	—
2020年3月期第3四半期	118.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	512,375	316,919	61.3
2020年3月期	468,243	286,356	60.5

(参考) 自己資本 : 2021年3月期第3四半期 313,837百万円 2020年3月期 283,340百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	△7.0	10,000	△18.0	14,200	△15.6	37,600	217.3	442.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	87,960,739株	2020年3月期	87,960,739株
2021年3月期3Q	4,377,905株	2020年3月期	2,052,493株
2021年3月期3Q	85,273,288株	2020年3月期3Q	86,445,907株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(追加情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。輸出や生産で持ち直しの動きがみられました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、競争の激化や人手不足等を背景としたコストの増加に加え、同感染症の影響を受け輸出入貨物が減少したことにより、また不動産業界においては、緊急事態宣言の影響もあり、消費者の行動変化等により商業施設の一部で集客が落ち込むなど、いずれも厳しい状況のうちに推移しました。

このような状況の下、当社グループは、同感染症予防に努めながら営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の拡大、国際輸送貨物の取扱維持等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流事業で、倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において同感染症の影響による貨物取扱量の減少等に伴い収入が減少し、不動産事業で、不動産賃貸事業における同感染症の影響による一部商業施設のテナント休業、マンション販売事業における販売物件の減少等により収入が減少したため、全体として前年同期比158億3千2百万円(9.3%)減の1,548億2千3百万円となりました。他方営業原価は、物流事業で、貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が減少したほか、不動産事業で、マンション販売物件の減少に伴い不動産販売原価等が減少したため、全体として前年同期比133億9千5百万円(8.8%)減の1,395億円となり、販売費及び一般管理費は、経費の減少等により、同3億3千1百万円(4.2%)減の75億7百万円となりました。

このため、営業利益は、物流及び不動産の両事業で減益となったので、全体として前年同期比21億4百万円(21.2%)減の78億1千4百万円となり、経常利益は、同26億6千6百万円(18.9%)減の114億3千7百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益で、名古屋駅近辺の当社不動産事業用地の一部譲渡等による固定資産処分益及び受取補償金(合計約366億円)等を計上したため、前年同期比225億8千6百万円(220.5%)増の328億2千9百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により貨物取扱量が減少しており、倉庫、陸上運送の両事業は、医薬品等の取扱が増加したものの自動車部品、飲料等の取扱減少により、営業収益は倉庫事業で前年同期比2.5%減の412億7千2百万円、陸上運送事業で同10.2%減の356億1千5百万円となりました。また港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱減少等により、営業収益は前年同期比13.6%減の155億6千3百万円となり、国際運送取扱事業は、輸出入貨物の取扱減少等により、営業収益は同9.5%減の340億4千2百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比113億6千万円(7.9%)減の1,318億8千1百万円となりました。また営業費用は、貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が減少したため、前年同期比97億5千6百万円(7.1%)減の1,274億3千4百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比16億3百万円(26.5%)減の44億4千7百万円となりました。

## ② 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、同感染症の影響による一部商業施設のテナント休業等に伴い、営業収益は前年同期比1.4%減の213億5千8百万円となりました。その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の減少等により、前年同期比60.3%減の28億3千9百万円となりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比46億1千8百万円(16.0%)減の241億9千7百万円となりました。また営業費用は、マンション販売物件の減少に伴い不動産販売原価等が減少したため、前年同期比39億8千9百万円(19.2%)減の167億4千9百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比6億2千8百万円(7.8%)減の74億4千8百万円となりました。

## セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
倉庫・港湾運送等の物流事業 (倉庫事業)	42,313	41,272	△1,041	△2.5
(陸上運送事業)	39,679	35,615	△4,063	△10.2
(港湾運送事業)	18,014	15,563	△2,451	△13.6
(国際運送取扱事業)	37,622	34,042	△3,580	△9.5
(その他)	5,612	5,388	△224	△4.0
計	143,242	131,881	△11,360	△7.9
不動産事業 (不動産賃貸事業)	21,657	21,358	△298	△1.4
(その他)	7,159	2,839	△4,319	△60.3
計	28,816	24,197	△4,618	△16.0
セグメント間取引消去	△1,403	△1,256	146	—
合計	170,655	154,823	△15,832	△9.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まない。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の総資産は、名古屋駅近辺の当社不動産事業用地の一部譲渡等による資金を活用した設備投資に伴い「建物及び構築物」や「土地」等の有形固定資産が増加したほか、株式相場の回復に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比441億3千2百万円増の5,123億7千5百万円となりました。

他方当第3四半期連結会計期間の負債合計は、主として、名古屋駅近辺の当社不動産事業用地の一部譲渡等による特別利益への税務上の圧縮記帳適用及び株式相場の回復に伴い「繰延税金負債」が増加したため、前期末比135億6千9百万円増の1,954億5千6百万円となりました。

また当第3四半期連結会計期間の純資産は、「自己株式」の取得による減少があったものの、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上に伴い「利益剰余金」が増加したほか、株式相場の回復に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比305億6千3百万円増の3,169億1千9百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を0.8ポイント上回る61.3%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、321億9千8百万円の増加（前年同期は77億6百万円の増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入があったものの、固定資産の取得による支出等により、186億4千万円の減少（前年同期は135億5千5百万円の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出、配当金の支払等により、126億6千1百万円の減少（前年同期は17億9千4百万円の減少）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（1億8千3百万円の減少）を加えた全体で7億1千3百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は412億5千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の連結業績は概ね2020年7月31日公表の第1四半期経過時修正予想に沿って進捗しているため、通期の連結業績予想については、2020年7月31日公表の予想数値を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,854	39,756
受取手形及び営業未収金	36,392	36,491
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	14,882	16,015
その他	6,404	6,883
貸倒引当金	△39	△35
流動資産合計	98,494	101,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	127,987	135,557
機械装置及び運搬具（純額）	4,368	4,513
土地	89,630	107,370
建設仮勘定	2,421	149
その他（純額）	8,653	8,048
有形固定資産合計	233,061	255,640
無形固定資産		
借地権	7,732	7,730
のれん	329	161
その他	6,443	5,779
無形固定資産合計	14,505	13,671
投資その他の資産		
投資有価証券	111,587	126,679
長期貸付金	360	366
繰延税金資産	2,966	2,930
その他	7,330	12,066
貸倒引当金	△13	△37
投資損失引当金	△48	△54
投資その他の資産合計	122,182	141,951
固定資産合計	369,749	411,264
資産合計	468,243	512,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,249	20,458
短期借入金	25,403	25,659
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
未払法人税等	2,868	2,221
取締役賞与引当金	50	33
その他	12,685	13,670
流動負債合計	68,257	72,043
固定負債		
社債	46,000	41,000
長期借入金	19,680	20,063
長期預り金	20,987	21,625
繰延税金負債	14,925	29,039
役員退職慰労引当金	130	112
退職給付に係る負債	10,268	10,330
その他	1,638	1,240
固定負債合計	113,629	123,412
負債合計	181,886	195,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,587	19,595
利益剰余金	204,319	232,018
自己株式	△5,847	△12,849
株主資本合計	240,453	261,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,252	53,654
為替換算調整勘定	389	△306
退職給付に係る調整累計額	△754	△669
その他の包括利益累計額合計	42,887	52,679
非支配株主持分	3,015	3,082
純資産合計	286,356	316,919
負債純資産合計	468,243	512,375

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
<b>営業収益</b>		
倉庫保管料	20,541	20,956
倉庫荷役料	13,754	12,694
陸上運送料	39,679	35,615
港湾荷役料	13,865	11,854
国際運送取扱料	37,542	33,958
不動産賃貸料	23,624	23,556
その他	21,647	16,186
<b>営業収益合計</b>	<b>170,655</b>	<b>154,823</b>
<b>営業原価</b>		
作業運送委託費	72,506	65,002
人件費	28,917	28,266
施設賃借費	6,932	7,514
減価償却費	10,108	10,608
その他	34,431	28,109
<b>営業原価合計</b>	<b>152,896</b>	<b>139,500</b>
<b>営業総利益</b>	<b>17,758</b>	<b>15,322</b>
販売費及び一般管理費	7,839	7,507
<b>営業利益</b>	<b>9,918</b>	<b>7,814</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	67	39
受取配当金	3,336	2,963
持分法による投資利益	1,100	1,204
その他	359	376
<b>営業外収益合計</b>	<b>4,863</b>	<b>4,583</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	432	440
社債発行費	136	—
為替差損	67	454
その他	41	65
<b>営業外費用合計</b>	<b>677</b>	<b>959</b>
<b>経常利益</b>	<b>14,104</b>	<b>11,437</b>

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産処分益	66	19,125
投資有価証券売却益	1,665	10
施設解約補償金	—	47
受取補償金	—	18,778
特別利益合計	1,731	37,962
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	1,320	1,155
投資有価証券評価損	36	752
投資損失引当金繰入額	13	—
臨時休業による損失	—	381
特別損失合計	1,370	2,289
税金等調整前四半期純利益	14,465	47,110
法人税等	4,077	14,150
四半期純利益	10,387	32,960
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	131
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,242	32,829

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	10,387	32,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	455	10,450
為替換算調整勘定	△339	△676
退職給付に係る調整額	△119	87
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	△71
その他の包括利益合計	△71	9,790
四半期包括利益	10,315	42,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,140	42,621
非支配株主に係る四半期包括利益	175	128

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,465	47,110
減価償却費	10,441	10,950
引当金の増減額(△は減少)	6	26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△396	72
受取利息及び受取配当金	△3,403	△3,002
支払利息	432	440
固定資産処分損益(△は益)	90	△18,607
受取補償金	—	△18,707
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,665	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	36	752
売上債権の増減額(△は増加)	1,860	△221
販売用不動産の増減額(△は増加)	△2,561	△1,133
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,331	△1,721
預り金の増減額(△は減少)	△663	2,336
その他	△2,234	△1
小計	9,076	18,281
利息及び配当金の受取額	4,029	3,881
利息の支払額	△443	△456
補償金の受取額	—	15,714
法人税等の支払額	△4,956	△5,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,706	32,198
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△15,874	△37,565
固定資産の売却による収入	105	19,605
投資有価証券の取得による支出	△781	△515
投資有価証券の売却による収入	2,991	29
その他	2	△195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,555	△18,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の純増減額(△は減少)	△5,439	665
社債の発行による収入	19,863	—
社債の償還による支出	△5,000	—
自己株式の取得による支出	△5,015	△7,077
配当金の支払額	△5,206	△5,131
その他	△996	△1,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,794	△12,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,601	713
現金及び現金同等物の期首残高	42,972	40,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,370	41,255

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月31日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において普通株式2,344,600株、7,057百万円の自己株式を取得しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	142,638	28,016	170,655	—	170,655
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	603	799	1,403	△1,403	—
計	143,242	28,816	172,058	△1,403	170,655
セグメント利益	6,051	8,077	14,128	△4,209	9,918

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,209百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,229百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	131,374	23,448	154,823	—	154,823
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	506	749	1,256	△1,256	—
計	131,881	24,197	156,079	△1,256	154,823
セグメント利益	4,447	7,448	11,895	△4,081	7,814

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,081百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,090百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、第4四半期以降も、物流事業を中心に同感染症の影響が残るという仮定に基づき、会計上の見積りを行っております。